

化成肥料に係る設備能力に関する調査

肥料年度	調査対象会社工場数 上段：調査会社工場(注1) 下段：上位10社工場(注2)	総操業時間 (A) (時間) (注3)	うち銘柄切替 (時間)	生産可能時間 (B) (時間) (注4)	稼働率 (A/B) (%)	生産実績 (千トン) (注5)	生産銘柄数 (注6)
2015 (注7)	21社 43工場	124,793	16,198	152,823	81.7	736	5,210
	うち上位10社30工場	98,524	12,705	119,967	82.1	585	3,906
2016	21社 43工場	259,921	33,735	294,947	88.1	1,484	6,279
	うち上位10社30工場	210,493	27,657	234,911	89.6	1,202	4,582
2017	21社 43工場	241,371	31,405	280,630	86.0	1,437	5,734
	うち上位10社30工場	191,688	25,412	220,440	87.0	1,146	3,963
2018	21社 43工場	241,473	34,822	279,849	86.3	1,386	5,521
	うち上位10社30工場	194,125	29,034	224,617	86.4	1,123	3,924
2019	21社 43工場	236,682	32,162	277,666	85.2	1,330	5,267
	うち上位10社30工場	189,995	26,260	220,088	86.3	1,078	3,321
2020	21社 43工場	228,582	31,120	272,740	83.8	1,295	5,201
	うち上位10社30工場	185,348	25,329	216,079	85.8	1,048	3,274
2021	21社 43工場	233,209	30,522	272,218	85.7	1,335	4,794
	うち上位10社30工場	186,789	25,069	213,453	87.5	1,085	2,765

日本肥料アンモニア協会、全国複合肥料工業会、経済産業省調査による。

(注1) 調査対象工場は、全国の化成肥料生産量の95%以上を占める会社工場を対象にしている

(注2) 上位10社とは調査対象社の生産量上位10社を指し、その工場を集計したもの

(注3) 総操業時間とは、調査対象工場で実際に設備が操業した時間の総和で、銘柄切替などの業務時間を含む

(注4) 生産可能時間とは、各工場の1日当たり所定操業時間と定修・休日等を除いた所定年間生産日数を掛けたものの総和である

(注5) 化成肥料製造設備を元に製造された肥料の生産量

(注6) 生産銘柄数は、登録銘柄数のうち、当該設備において実際に生産した銘柄数である

(注7) 2015肥料年度のみ、2016年1～6月実績である